

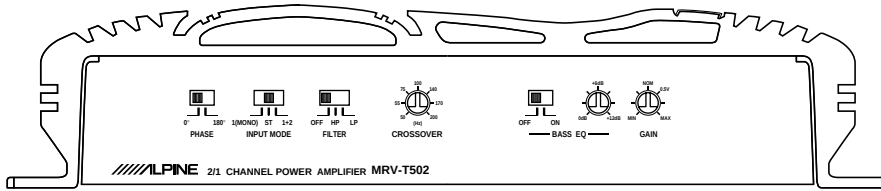


MRV-T502/MRV-T302

2チャンネル・パワーアンプ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。



(MRV-T502)

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

● 表示の意味

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 表示の例

	記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。
	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

警告

分解・改造をしない
分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。

ヒューズ交換は容量を守る
ヒューズ交換は、必ず規定容量 (アンペア数) を守ってください。
規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。

配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行う
配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らない
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。
コードの電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

穴を開けるときは、パイプ・配線類を傷つけない
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。
火災の原因になります。

異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音や画面が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。
そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

注意

取り付け・配線は、専門家に依頼する
<本機>の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ず<お買い上げの販売店>に依頼してください。

付属の部品を指定通りに使い、しっかりと取り付ける
必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、<機器>内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

音量を上げすぎない
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

小物類は幼児の手の届かないところに保管する
小物類<ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。
飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

DC12Vマイナスアース車以外に使用しない
DC12Vマイナスアース車専用です (分からない場合は、ディーラーで確認してください)。
守らないと火災などの原因になります。

コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめる
コード類は説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめてください。
ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

運転のじゃまになるところには取り付けない
前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所 (ステアリング・シフトレバー等) など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。
交通事故やケガの原因となります。

取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない
ステアリングやブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは、取り付け・アース接続に絶対に使用しないでください。
これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

運転中は操作をしない・表示を見ない
運転中は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。
走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。
必ず安全な場所に車を停車させてください。

こんなときには

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症 状	原 因	処 置
動作しない。 (- 電源インジケータが点灯しない。 - ヒューズが切れるなどの症状。)	ヘッド・ユニットの電源が入っていない。	ヘッド・ユニットの電源を入れる。
	アース・コードの接続が不完全。	アース・コードの接続を確認する。
	バッテリー電源コードの接続が不完全。	バッテリー電源コードの接続を確認する。
	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。
	リモート・オン・コードの接続が不完全。	リモート・オン・コードの接続を確認する。
電源は入るが、音が出ない。	スピーカー配線がショートしている。	スピーカー配線を交換する。
	入力モード切替スイッチ位置がシステムに合っていない。	システムに合わせて正しい位置にする。
	PINコードの接続が不完全。	INPUT端子に正しく挿入する。
	スピーカー配線が不完全。	スピーカー配線の接続を確認する。
	入力感度調整ボリューム位置がシステムに合っていない。	システムに合わせて正しい位置にする。

保証書 / アフターサービスについて

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますのでお買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときまず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪い時保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または添付の「サービス・ショップのご案内」にあるお近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。
- 補修用性能部品製造切切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

付属品

品 名	数量
タッピング・ネジ (M4×14)	4
六角ネジ	3
六角レンチ	1
ヒューズ (30A/MRV-T502)	1
ヒューズ (20A/MRV-T302)	1
ショート防止用ラバーゴム	1式
スピーカー出力コード	1式
バッテリー電源コード (黄)	1
アース・コード (黒)	1
リモート・オン・コード (青/白)	1
取扱説明書・保証書類	1式

規 格

	MRV-T502	MRV-T302
12.0V定格出力 (20Hz～20kHz)		
4Ω負荷 (0.04%THD)	50W	30W
2Ω負荷 (0.3%THD)	100W	50W
ブリッジ接続4Ω負荷 (0.3%THD)	200W	100W
14.4V定格出力 (20Hz～20kHz)		
4Ω負荷 (0.04%)	75W	50W
2Ω負荷 (0.3%)	150W	75W
ブリッジ接続4Ω負荷 (0.3%)	300W	150W
14.4V最大出力 (1kHz)		
4Ω負荷 (10%THD)	140W	80W
周波数特性 (+0、-1dB)	10Hz～50kHz	
S/N比	100dBA	
入力感度 (入力感度調整ボリュームセンター時: 500mV)	200mV～4.0V	
入力インピーダンス	10kΩ<	
スピーカー・インピーダンス	4Ω / 2Ω (ステレオ) 4Ω (ブリッジ)	
クロスオーバー周波数	50～200Hz (無段階) 12dB/Oct. (スロープ)	
使用電源	動作可能電源範囲: 11～16V	
アース方式	⊖アース	

- 外形寸法
MRV-T502240 (幅) × 53 (高さ) × 270 (奥行き) mm
MRV-T302240 (幅) × 53 (高さ) × 180 (奥行き) mm

- 重量
MRV-T5023.3kg
MRV-T3022.2kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

はじめに

- 次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
 - 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
 - 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取り付け説明書も合わせてご覧ください。
 - 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
 - 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
 - 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

1. 取り付ける

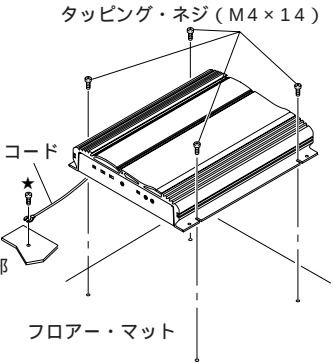
- 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキング・ブレーキをかけ、エンジン・キーを抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分が確認する。

2 取り付け。

警告 穴を開けるときは、パイプ・配線類を傷つけない
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災の原因になります。

警告 取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない
ステアリングやブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは、取り付け・アース接続に絶対に使用しないでください。
これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

- 取り付け場所を設定します。
(トランク・ルームなどが最適です。)
 - 取り付けネジ位置に印をつけます。
 - ドリルで4mm径以下の穴を開けます。
 - 付属のタッピング・ネジ (M4×14) 4本で本機をしっかりと取り付けます。
 - 本機のアース・コードを車の金属部に取り付けます。
- [ご注意]
“ ” 印のネジは、車体の金属部についている既設のネジを使用してください。



2. 接続する

1 はじめに

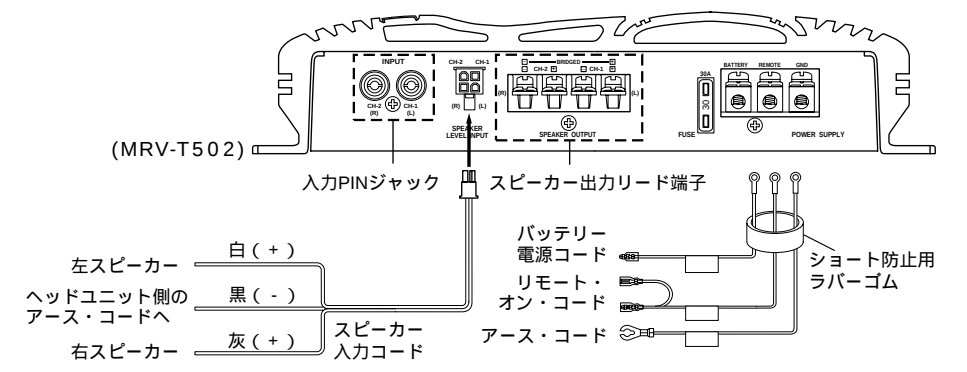
- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお奨めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 バッテリー⊖端子を外す。

- Memo**
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーの ⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
 - 一部の車種（外国車など）では、バッテリーの ⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

3 接続する。

- 注意**
- 正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



コード名称	補足説明
リモート・オン・コード	ヘッドユニットなどのリモート・アウト・コードと接続してください。
アース・コード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。
バッテリー電源コード	常にバッテリーの ⊕電源が供給されているところに接続してください。

- Memo**
- スピーカー・コードの ⊖側が左右共通になっている車両は、使用できません。
 - スピーカーのインピーダンスは3.2～8Ωのものをお使いください。
 - スイッチの切り替えは、必ず電源をOFFにして棒状のものを垂直に挿入して行ってください。
 - 車両雑音から守るために
 - アース・コードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - バッテリー電源コードとPINコードは離す。
 - 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。
 - 電源ワイヤーは、AMP本体のヒューズ容量よりも大きいものを使用してください。

市販ワイヤーでの取り付け

市販ワイヤーで、取り付けるときには、六角ネジを使う必要があります。できるだけ販売店での接続をお勧めします。
お客様が接続される場合は、以下の説明をよくお読みになり、正しく行ってください。

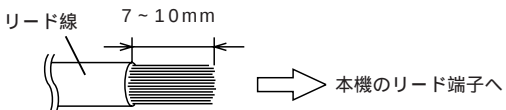
- 接続の際は必ず、添付の六角ネジ／六角レンチをお使いください。
- 安全のため、バッテリー電源リード線は最後に取り付けてください。
- リード線を持って本機を持ち運ばないでください。リード線が断線したり、本機が落下するおそれがあります。

1 ワイヤーの太さを確認します。

[ご注意]

- 本機に使用できるワイヤーのサイズは、AWG8～AWG18までです。
- 使用するワイヤーの太さがわからない時は、お買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパインサービスセンターなどにお問い合わせください。

2 リード線の被覆（ビニール等の絶縁部分）を7mmから10mmの長さにむいて、芯線（導体部分）を露出させます。

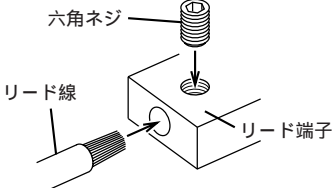


[ご注意]

- 露出部分が短か過ぎると、導通しません。本機が動作しなかったり、音が途切れたりする原因になります。
- 露出部分が長過ぎると、ショートする場合があります。

3 ラバーゴムをリード線に通します。

4 本機に取り付けられているネジを外します。リード線の芯線をリード端子に差し込み、六角ネジを六角レンチで固定します。これで、リード線が固定されます。



3. 確認する

1 コード類を固定する。

- 警告**
- コードを挟まないように引き回す。

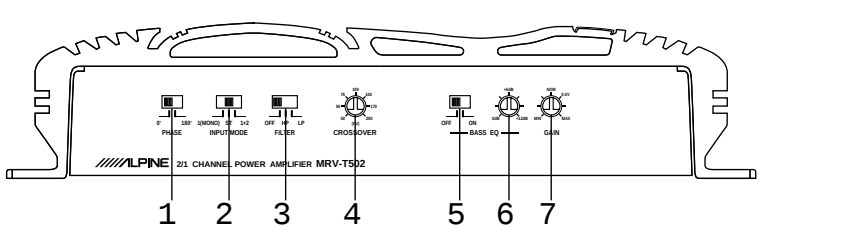
シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどして配線を傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります

2 バッテリー⊖端子を接続する。

3 エンジン・キー／カーオーディオ電源をONにして、本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン／ストップ・ランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

4. 調整する



1 位相切替スイッチ

- 180度側にセットすると出力の位相が反転します。スピーカーからの音が聴きとりやすい方に切り替えてください。

2 入力モード切替スイッチ

1. ステレオ2チャンネル・モードのときに使用します。入力PINジャックCH1の信号はスピーカー出力リード端子CH1から、入力PINジャックCH2の信号はスピーカー出力リード端子CH-2から出力します。
2. ブリッジ・モードの片チャンネル入力時に使用します。入力PINジャックはCH1のみで使用できます。スピーカー出力リード端子はCH1(+)とCH2(-)から出力します。
3. 右チャンネル・左チャンネルの信号をミックスして出力するときに使用します。入力PINジャックCH1、CH2の信号は、スピーカー出力ターミナルCH1(+)、CH2(-)からミックスして出力します。

3 クロスオーバー・モード切替スイッチ

1. サブウーハー用として使用するとき " LP " にセットします。低帯域出力となります。
2. サブウーハーと組み合わせるフルレンジ・スピーカー／ミッドレンジ・スピーカー駆動用として使用するとき " HP " にセットします。中高帯域出力となります。
3. フルレンジ・スピーカーによる通常のシステム用として使用するときは " OFF " にセットします。全帯域出力となります。

4 クロスオーバー周波数調整ツマミ

クロスオーバー・モード切替スイッチをLPまたはHPにセットしたときに使用します。クロスオーバー周波数を50～200Hzの間で調整することができます。

5 バスEQ切替スイッチ

サブウーハー駆動用として使用するときに " ON " にセットします。

6 バスEQ調整ツマミ

バスEQ切替スイッチを " ON " にセットしたときに使用します。低域を0dB～+12dBの間で好みのレベルに調整することができます。

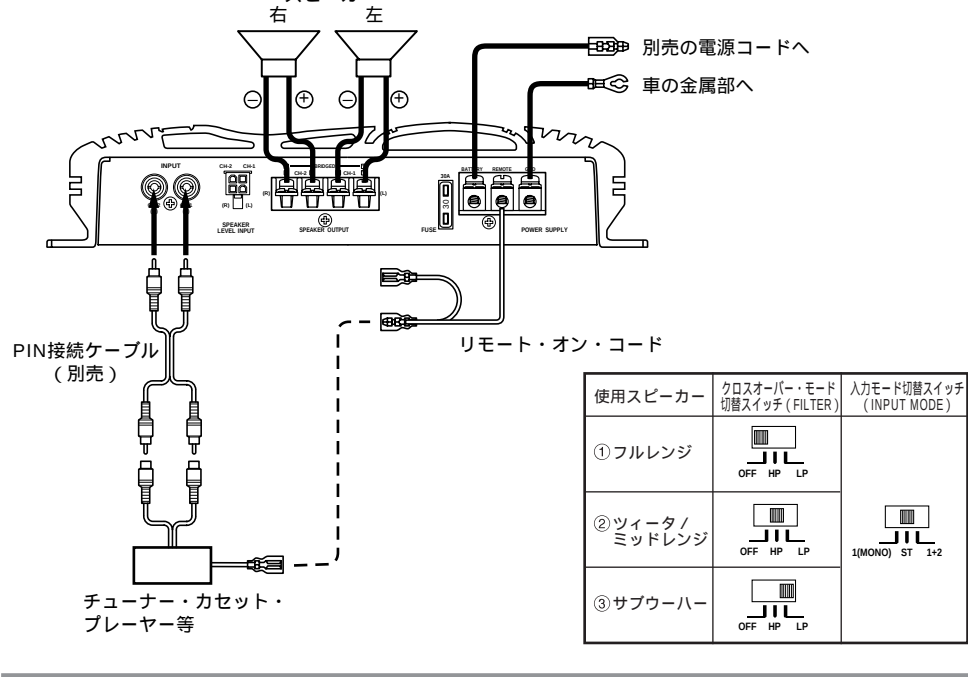
7 入力感度調整ツマミ

出荷時には " 0.5V " に設定してあります。接続する製品の出力に合わせて調整してください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

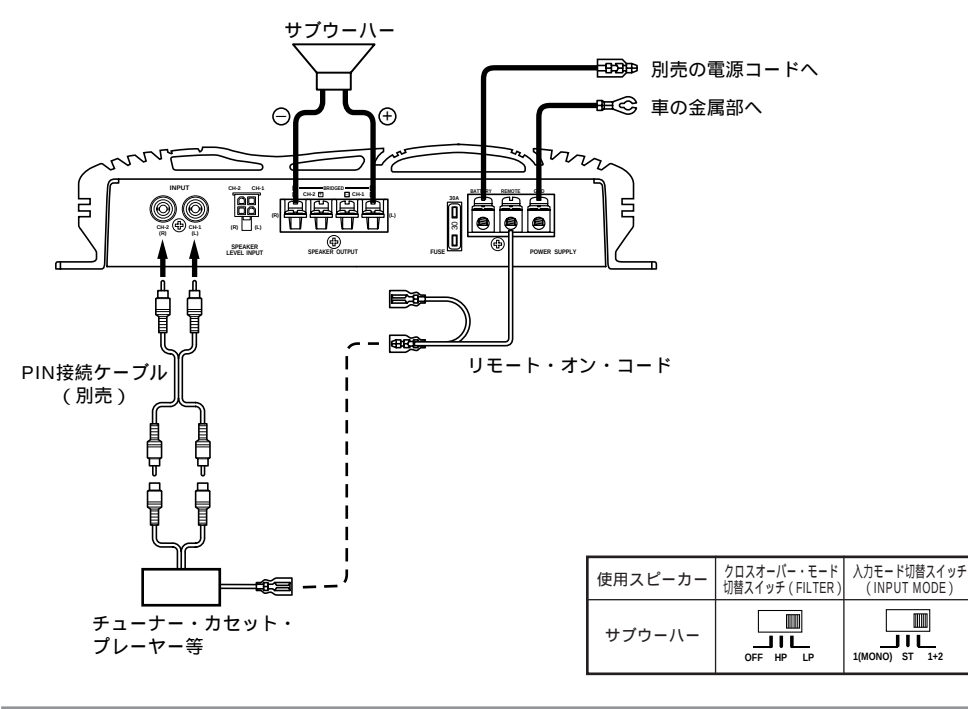
5. システムアップの例

スピーカー入力コードを使って接続する場合は、「スピーカー入力コードによる接続」のシステムを参照してください。

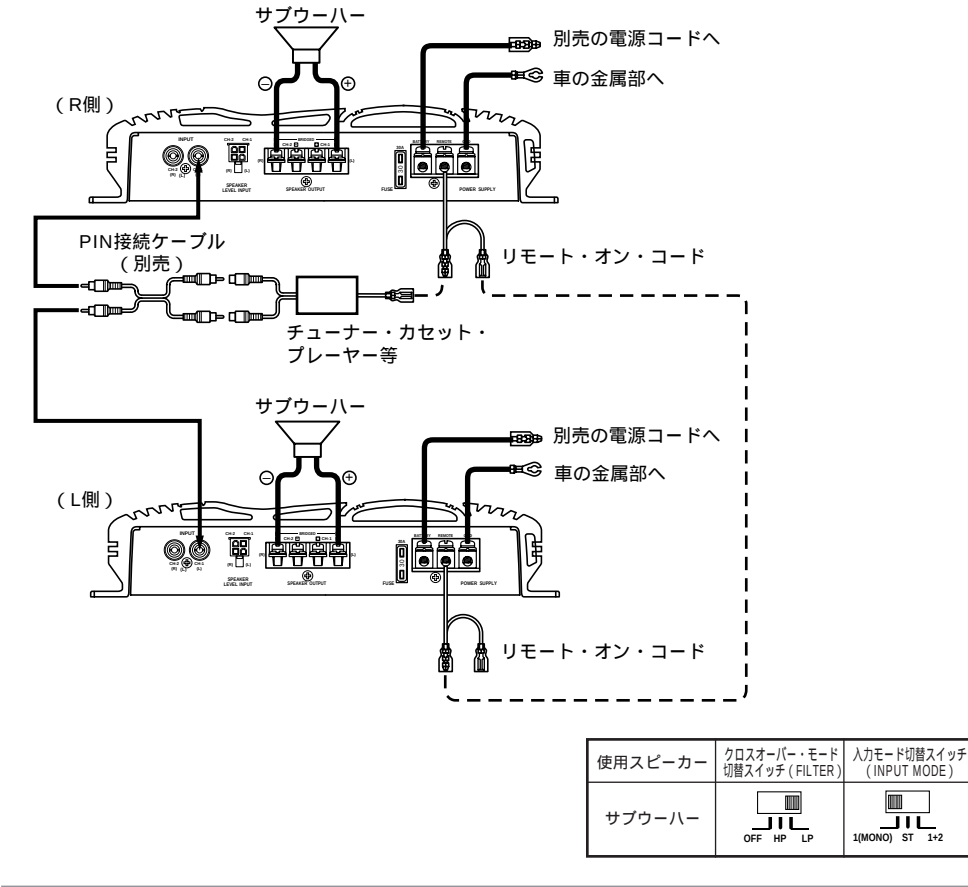
フルレンジ、ツイータ／ミッドレンジ、サブウーハー（ステレオ入力、ステレオ出力）



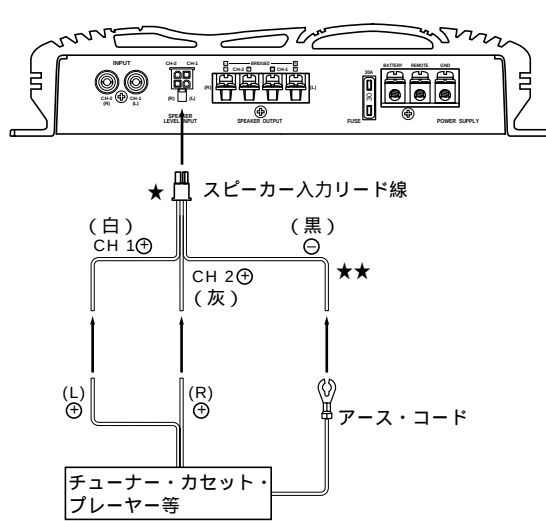
サブウーハー（ミックス入力、ブリッジ出力）



サブウーハー（モノラル入力、ブリッジ出力）



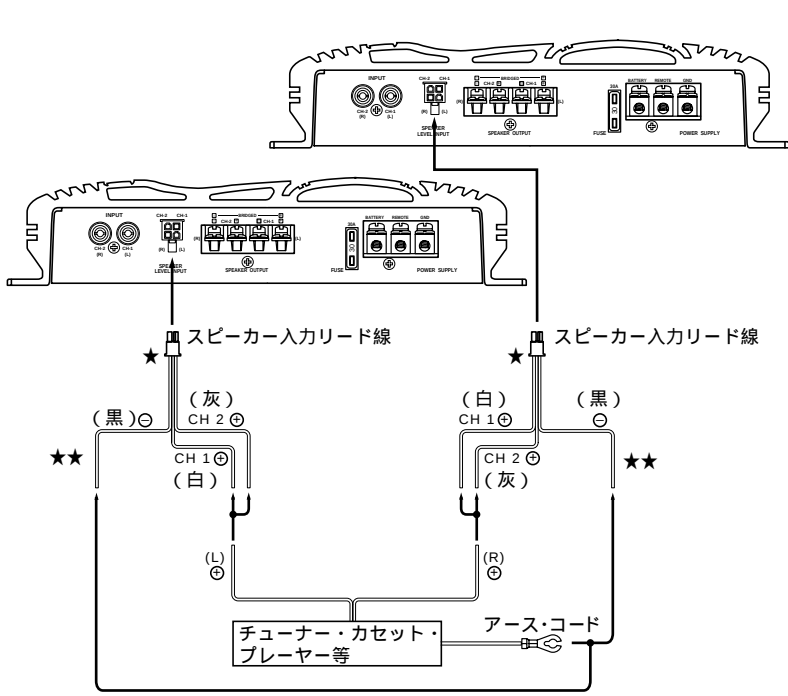
スピーカー入力コードによる接続（ステレオ入力、ステレオ出力）



接続の際、入力用PINジャックとスピーカー入力の同時使用はできません。必ずどちらか一方をお使いください。

スピーカー入力コードの黒（ - ）は、スピーカー出力（ - ）に接続しないで、ヘッドユニット側（チューナー・カセット・プレーヤー等）のアース・コードへ接続してください。

スピーカー入力コードによる接続（モノラル入力、ブリッジ出力）



接続の際、入力用PINジャックとスピーカー入力の同時使用はできません。必ずどちらか一方をお使いください。

スピーカー入力コードの黒（ - ）は、スピーカー出力（ - ）に接続しないで、ヘッドユニット側（チューナー・カセット・プレーヤー等）のアース・コードへ接続してください。